令和5年度　　学校教育努力点について

1. 本年度の主題

社会で生き抜く力を育てる

－ 主体的・協働的な「生徒中心の学び」を通して －

2. 主題設定の理由

新型コロナウイルス感染症の影響により、数年前と比べると社会が大きく変革している。それに伴って、子どもたちの周りを取り巻く環境も大きく変化している。このような予測不能な社会や環境の中で生き抜いていくためには、仲間との協調性と自らの主体性が大切であると考える。そこで、授業や学校生活全般において、「生徒を中心とした学び」を意識しながら、次の二つのことを重点的に取り組んでいきたい。

一つ目は、仲間との協働である。仲間との協働により、対話が生まれ、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。また、学校での様々な場面において協働する機会を増やすことで、社会性やコミュケーション能力も向上し、社会に適応しやすくすることができる。

二つ目は、主体的な活動である。主体性を育むためには、子どもたちが主体的に取り組むためのきっかけや仕掛けが必要である。教科の授業であれば、子どもたちが自らの興味関心をもとに取り組むことができるような課題設定を行っていくようにしていく。

これらの活動を円滑に進めるための手段として、タブレットを有効活用していく。このようにして、仲間との協働的な学びと、主体性を育む個別最適な学びを一体的に充実させていくことを、「生徒を中心とした学び」の中で取り組んでいくことで、「社会で生き抜く力」を育てていきたい。

3. 育てたい生徒の姿

仲間との協働の中で主体性を磨くことができる生徒

4. 本実践の内容

(1)　仲間との協働や対話によって、より学びを深めることができる授業づくり

(2)　生徒が興味・関心に応じて主体的に学びを進めることができる授業づくり

(3)　仲間との協働や主体的に取り組むことができる行事・学年・学級づくり